

令和元年度薬学生涯研修講座

薬・薬連携の在り方を考える

—最新医療と地域連携の視点から—

主催／一般社団法人静薬学友会・静岡県立大学薬学部

日時／令和2年2月23日(日) 13:00～16:30 (12:30 受付開始)

会場／あざれあ2階 大会議室 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1 TEL 054-255-8440

参加費／500円(学生無料) 参加定員／140名(同窓会会員以外のご参加も受け付けます)

後援／静岡市薬剤師会、静岡県薬剤師会、静岡県病院薬剤師会

共催／日本薬剤師研修センター ☆日本薬剤師研修センター集合研修2単位

超高齢社会を迎えた我が国においては、疾病の様相も大きく変化しており、それに伴い薬学領域の研究開発、国や地方自治体の薬事行政、病院や薬局における薬剤師業務も大きく変わっています。

今回の研修会では、病院薬局と調剤薬局との連携の在り方をテーマにして、最新のがんゲノム医療に取り組む病院薬局の現状の紹介、及び地域連携に積極的に取り組む柏市、菊川市、宝塚市の現況と課題について講演頂きます。更に薬・薬連携の在り方についてのパネルディスカッションも企画しています。

プログラム

【開会挨拶】13:00 一般社団法人静薬学友会 会長 横倉輝男

静岡県立大学 薬学部長 眞鍋 敬

座長：一般社団法人静薬学友会 理事/副会長 高橋千恵子，理事 渡邊 学

【講演1】最新医療： 13:10～14:10 (60分)

がんゲノム医療の提供体制と病院薬剤師の役割

国立がん研究センター東病院薬剤部 竹野美沙樹

(がんゲノム医療コーディネーター、がん専門薬剤師)

【講演2】地域連携： 14:20～15:50 (各講演30分)

千葉県柏市モデル のぞみの花クリニック 餅原弘樹

(緩和薬物療法認定薬剤師、外来がん治療認定薬剤師)

静岡県菊川市モデル 菊川市立総合病院 薬剤科長 瀧 祐介(平成12年卒)

兵庫県宝塚市モデル 薬局らくらくファーマシー 畑 世剛

(宝塚市薬剤師会 理事・宝つーかーの会 代表世話人)

【パネルディスカッション】15:50～16:20 (30分)

薬・薬連携の在り方を考える パネリスト：竹野美沙樹、餅原弘樹、瀧 祐介、畑 世剛

【閉会挨拶】16:20 一般社団法人静薬学友会 副会長 鈴木 隆 【終了16:30】

令和元年度薬学生涯研修講座運営委員会 委員長 若林敬二

問い合わせ・参加申込／一般社団法人静薬学友会

〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田52-1

・TEL: (054)265-8763 ・FAX: (054)265-8769

Eメール: shizuyak@u-shizuoka-ken.ac.jp 静薬学友会ホームページ <http://shizuyaku.jp>